

次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業における事業計画書
岐阜市立 陽南中学校

	研 究 内 容
<p>1 年 次 平 成 十 三 年 度</p>	<p><環境づくり>まずは職員生徒が「使える」ことをめざす。 教師：LAN を利用した文書データのやりとり(情報部の立ち上げ) ：利用のための環境整備(機器の配置・周辺機器の利用方法の校内 研修の実施[保健室の出欠・図書室の貸し出し・学級日誌など]) ：利用する際の約束づくり ：セキュリティに対する研修 生徒：LAN を使うための基礎的なリテラシーづくり ：学級日誌・出欠確認・図書の貸し出しを利用しながら覚える。 ：利用の約束を理解する。</p>
<p>2 年 次 平 成 十 四 年 度</p>	<p><挑戦と開発> 1年目の取り組みを継続しながら... * 教育活動で活用することに挑戦 そのための教材の開発と指導計画指導方法の研究 ・教科...インターネットの利用(情報収集・検索) サーバー内に保存してある資料提示や情報発信 ・道徳...読み物資料に代わるものや画像や動画データの提示 ・特別活動...生徒会活動、生徒へのアンケート、野外活動事前調査 (メールを利用して) TV 放送に代わる生徒会からの情報発信(双方向性を生 かして) ・とびら(総合学習)...インターネットの利用、パワーポイントを利用 した発表など、TV 会議システムを使った 他校との交流など とにかく挑戦し、開発したものを情報部や研推で蓄積していく。生徒に も積極的に使わせていく。開発は教師だけでなく、生徒や SE も活用して いきたい。</p>
<p>3 年 次 平 成 十 五 年 度</p>	<p><まとめと推進> 2年目の取り組みを振り返って、中学校教育全体の中 で、コンピュータやネットワークを「道具」として当たり前を使いこな ず姿をめざす。 2年目までに開発されたものを精選し、本当に必要な場面で最も有 効な形で使うことを考える。 <精選の視点> ・PC やネットワークを使う方がよいのか、それとも他の方法の方が ふさわしいのか。(わかる、できる授業になったか?) ・利用することに価値があっても、その準備のための労力はそれにふ さわしいか。 常に学校教育の本質に関わる視点から見つめたい。使うことが目的 ではなく、使うことによって子供たちの「生きる力」を育む教育をめざ していることは忘れずに取り組んでいきたい。</p>